

主なる神はアダムを呼ばれた。「どこにいるのか。」(旧約聖書 創世記 3章 9節)

「試験中だもの。誰も見ていない、わからない。ちょっとカンニングしてもいいさ！」
「同じクラスになったけどアイツ嫌な感じ！気に入らない！僕らの仲間には入れないよ！」
「あぁ、もうすぐ試験だ！ 眠いし、礼拝に行くなんて時間がもったいないよ！」
「コロナで世界中大変になって神様ってひどい方だ。周りの大人もみんなダメな人間だ！」

君たちの中にもこんな気持ち……ちょっとあつたりするかな？
神様を畏れない人間の自己中心。自分の心って、見つめていると悲しくなりますね。いったいどうなっているのでしょうか？ うまくいかないことが起こるとそれは全部、神様やほかの人のせいだと恨んだりするのは。本当にそうでしょうか？

今朝も Bible メガネでこの世界と自分たちを見つめてみましょう。その原因がよくわかります。この Bible メガネはよく見えます。自分のことも、まわりの友達のこと、父や母のこと、先生のこと。

創世記 3章を読んでみましょう。蛇に姿を変えたサタンが出てきます。誘惑に負けて神様との約束を破ってしまったアダムとエバ。その結果、罪と悲惨がこの世界を覆い苦しみが襲ってくるようになりました。やがて誰もが死んでしまうという悲しみを抱えながら今日も私たちは生きています。この世界と人間はどこからきて、やがてどこに行くのでしょうか？

天地創造の初めからすべてが極めて良かったこの世界に生かされていた二人が、サタンの誘惑に負けて、神様から隠れるようになってしまったというこのエデンの園に起こったこと、今朝聖書のメッセージを聴いている自分の中にも起こっていると思いませんか？

裸に気づいたアダムとエバが神様から隠れてしまった姿。それはよくよく見つめてみると私たちの姿です。 Bible メガネをしっかりとかけて、自分をみつめてみましょう。すると自分の姿を発見していくのです。うまく取り繕っているけれど、正直に自分をみつめてみると……。

毎週日曜日、礼拝で神様が呼びかけています。「あなたはどこにいるのか？」
今朝も私たちは呼びかけられています。その呼びかけに答えて聖書のみ言葉をしっかりと聴きましょう。この世界とその中のすべての創造者であるまことの神様は、この世界に罪からの救い主イエスさまをくださいました。イエスさまの全く清いご生涯と十字架の身代わりの死。ここに愛があります。

神様のおっしゃることを正しくしっかりと聴きましょう。神様を信じるということは、このいただいたいのちのみ言葉に心から信頼して生きていくことです。アダムとエバは神様の言葉を聞かずにサタンの言葉を聞いてしまったのです。今朝、呼びかけてくださる神様の御声を信じ、感謝して、いのちのみ言葉をいただきます。

祈り「神様、私はもう隠れません。イエスさまを救い主と信じて、いのちのみ言葉に従います。私の罪を赦してください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン。」